

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明和病院(仮称)第二病院新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	280人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年10月10日
敷地面積	4,013㎡	作成者	葛西孝一
建築面積	1,728㎡	確認日	2022年●月●日
延床面積	6,231㎡	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p><省エネ配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の外皮性能を確保し、断熱性能を向上することで省エネを図る。 ・照明機器には高効率機器を採用、便器には節水タイプを採用する。 <p><敷地外環境></p>	特になし
<p>Q1 室内環境</p> <p><入院環境への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期入院患者が多いため、病室の採光、Low-Eペアガラスの採用、外部騒音対策を図り、療養環境への配慮を実現する。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p><建物配置と植栽計画への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令で定められた建蔽率、緑地率、日影規制、附属義務駐車台数に従いつつ、最善の植栽配置、建物配置を実現する。
<p>LR1 エネルギー</p> <p><設備計画の配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備機器、空調設備機器の選定において、できる限り高効率機器を採用する。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <p><廃棄物処理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内に廃棄物置場を確保し、医療廃棄物も含め適切な処理に配慮する。 <p><臭気対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房はニュークックチル方式を採用し、厨房排気の無い
<p>Q2 サービス性能</p> <p><内装計画の配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟スタッフステーション、病室(4床、個室)について、先行ルームを制作することで、より機能性、快適性の実現に配慮する。 	
<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p><節水配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・便器について、節水タイプの製品を採用する。 <p><リサイクル製品の採用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外装床タイル、内装材について、エコマーク製品の採用に努める。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される